

■ アブラハムとユダヤ人たち

ユダヤ人たちは、自分たちのことをアブラハムの子孫だと誇り、他の民族より霊的に優れていると思っていました。

「私たちの父はアブラハムだ。」というユダヤ人たちの主張は、彼らの血筋においては真実です。しかし、彼らの信仰においては真実ではありません。なぜなら、彼らはアブラハムの様には神を信じていないからです。むしろ、彼らは「私たちの父はアブラハムだ。」ということについて疑われたりしたら、我慢できず相手を攻撃する、狂信的な信仰を持っていました。

■ メッセージのポイント

イエス様のところにいた多くのユダヤ人たちが、その教えを聞いてイエス様を信じました。しかし、彼らの信仰は真実なものではなかったようです。イエス様が自由と真理について語られると、彼らは激しく抵抗しました。その教えから3つのことを考えてみましょう。

(1) イエスが与える真理があなたがたを自由にします。

(2) 罪を行っている者はみな、罪の奴隷です。

(3) 悪魔の子どもは真理を憎みます。